

僕たち奥っこ環境守り隊！

目的

これからの奥の発展のため、自然をまもり、
奥の暮らしを良くする活動を考える

自然を守る活動 奥川水質浄化の取組

水質調査
水生生物
調査



有用微生物
で
河川浄化



メヒルギの
栽培・移植



リュウキュウ
ウアユ
の放流



ミニ水族館
作り



奥の暮らしを良くする活動 地域交流・体験活動の取組

木の実や貝殻
を使った小物
販売



お茶摘み体験



草木染めの
ハンカチ
作り



学習発表会



ゴミゼロ運
動、奥川クリ
ーン作戦



活動実績

活動のまとめ：奥川の自然を調べ、昔の自然を取り戻す取組を行い、学習発表会や自由研究の発表会で調べた成果を発表し、地域の皆さんと協力して奥の自然環境を守ってきました。また、奥の自然を生かした小物などを作成して販売したり、地域の福祉施設との交流を行って将来奥を発展させる産業の可能性を探ってきました。

活 動 の 詳 細

自然を守る活動

奥川水質調査・水生生物調査。 本校では、5年前に県の環境教育モデル校に指定を受けた時から、継続して奥川の水質調査を行っている。調査方法はパックテストによる、NH4、NO2、NO3、PO4の測定と、指標生物による河川等級の判定の2種類である。奥川の6地点から、水と指標生物を採取し、それぞれの地点の水質や河川等級を調べた。プラナリアやサワガニ、トビケラ類などが、生息しており、高い水質等級を示すことが分かった。



メヒルギの種の植え付け、および育苗。平成23年度まで、慶佐次産、田嘉里産のメヒルギの種を栽培し、苗を作って奥川に植え付けてきた。前年度までの育苗のデータから、11月から2月にかけて、苗の成長が止まり、枯死する個体が多いことが報告されていた。昨年度は、奥川に一本だけ自生しているメヒルギから、22本の種子を採取した。今年度はその種子を育苗プールに植え付けた。そのうち、16本が発芽し、元気に育っている。



水族館作り。奥川の自然の豊かさを地域の方や学校を訪れる方に知っていただくため、水族館の設置を行った。奥川から、シマヨシノボリ、アヤヨシノボリ、クロヨシノボリ、サワガニ、スジエビ、ヤマトヌマエビ、カワニナ、イシマキガイなどの生物を採集し、奥小学校の玄関フロアにある小型水槽で飼育した。採集した生物については、図鑑や実際の観察などから、詳しい特徴を調べ、調べた結果をまとめて、水槽の近くに表示した。



有用微生物による河川の浄化。5年間にわたる水質調査や水生生物調査の結果から、奥川の全体の水質は大変きれいであることがわかったが、集落内の生活排水が集まる側溝の水質がかなり悪いことも判明した。そこで、有用微生物群を用いた側溝内の水質浄化に取り組んだ。初めの年度は2週間に一回、糖蜜を発酵させて有用微生物群を繁殖させた液をペットボトル50本分流して水質を測定した。2年目は、効果が持続するように、有用微生物群発酵液を土団子にして側溝に散布した。その結果、土団子を散布した次の日にNH₄の値を大幅に下げることが成功した。



リュウキュウアユの放流。 奥川河川再生協議会と協力して、毎年リュウキュウアユの放流を行っている。過去に何度かリュウキュウアユの遡上が確認されているが、定着は確認されていない。区民の方からの聞き取りでは、過去には豚の餌にするほどたくさんいたといわれているが、現在、リュウキュウアユは絶滅種となっていて、沖縄美ら海水族館と協力して、奄美大島産のリュウキュウアユを養殖していただき、稚魚を放流している。



奥の暮らしを良くする活動

木の実や貝殻を使った小物販売。 奥の自然の良さを内外にアピールするため、奥の自然を生かした小物作りに取り組み、こいのぼり祭りの中で販売している。販売によって集まった資金は児童会活動費として、奥川の環境を守るために使用している。

奥集落内でとれた流木、モクマオウ、リュウキュウマツ、貝殻、シーグラス等を用いて人形や壁掛けの飾りなどを作成した。その他にも校内で採取した植物を用いた押し花しおりや、オオタニワタリの鉢物、奥の自然の写真が入ったポストカードなどを作成。



お茶摘み体験。 奥区では、日本一早い新茶が取れることで他のお茶の生産地との差別化を図っている。また、区独自でお茶の栽培から、加工、乾燥、袋詰めまでできる工場を備えており、奥区の主要産業として茶業がある。その茶業がどのように行われているのか調べるために、体験活動を行った。昔ながらの手鋏で行う方法と、全国で初めて奥区が開発した刈り取り機を用いる方法の2種類を体験した。



草木染めのハンカチ作り。 奥区は、桜やフクギなど草木染めに適した植物が豊富にある。染物を研究している区民の當間さんを講師にお招きして、草木染めの方法を教

えていただいた。現在、産業としては行われていないが、自然豊かな環境を生かした産業して発展の可能性を秘めている。



学習発表会。 本校では、学習発表会をより多くの区民の皆さんに見ていただくために、集落センター(公民館)で行っている。詩の群読や実験ショー、地域の伝説をもとにした劇、一輪車演技などを地域の方に披露している。その中でも、毎年研究発表として「僕たち奥っこ。環境守りたい。」を発表し、環境保護の取組について発表してきた。



ゴミゼロ運動。奥川クリーン作戦。 毎年5月30日に、奥区の海岸清掃を行っている。また、定期的に奥川の河川の清掃活動を行ってきた。インドネシアや韓国、中国から漂着したごみなどもみられた。

